

令和2年度 乙戸小学校校内研修

組織目標

- 思いやりや協力性のある，よりよい人間関係を育てる。
- 理解させ説明し合わせる活動等により，対話的で深い学びを充実させる。

令和2年度 乙戸小学校 校内研修資料

よく聴き，考えを深め，表現できる力を育む
算数科学習指導の在り方

～理解させ説明し合わせる活動を通して～



理解させ説明し合わせる活動

45分のほとんどが
一斉授業

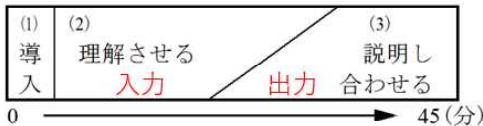
友達との話し合い・
意見交換タイム等

- ▲受け身で受動的
- ▲退屈
- ▲学習意欲



- 主体的・能動的
- 活気
- 学習意欲高揚

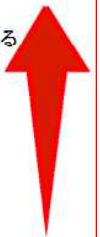
理解させ説明し合わせる活動



- (1)導入・・・5分程度
 - (2)理解させる学習活動を展開する。
 - (3)説明し合わせる学習活動で深い理解を目指す。
- ※時間配分は，集団の実態，課題の難易度や進捗状況を観て判断する。

深い理解とは

- 6 問題・課題の解き方を，分からない友達に分かるように説明できる
- 5 問題・課題の解き方を，分かっている先生等に分かるように説明できる
- 4 問題・課題は解けたが，その説明は大体分かるが不十分
- 3 問題・課題が解けるが，説明はできない
- 2 問題・課題は理解できたが，解決できない
- 1 問題・課題の理解も不十分



指導上の重要な手立て

- ①課題解決時 → グループ学習の導入
- ②説明し合う活動時 →
 - ・相互評価の導入
 - 「○・△のハンドサイン」
 - ・グループの進捗状況の可視化
- ③自分の考えを整理する → はかせシートの活用



説明し合わせる活動を充実させるための学習形態

全体

- グループ（自力解決） → 理解させる活動
- 全体（説明の仕方の確認）
- グループ（説明し合う活動） → 説明し合う活動
- 全体（考えの摺り合わせや共有化）

理解させ説明し合わせる活動

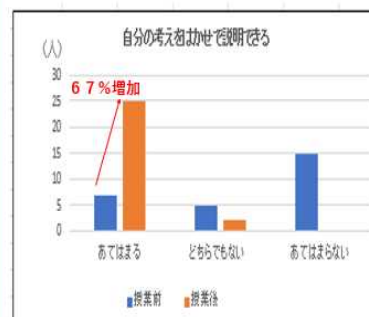
- 課題解決時 **グループ学習の導入**
自力解決できない児童 → 早めに課題解決



- 説明し合う活動時 **相互評価の導入**
説明が苦手な児童
→ 課題を理解し説明することができた。



単元終了後のアンケート結果（4年2組27名）



自分の考えをはかせで説明できる児童

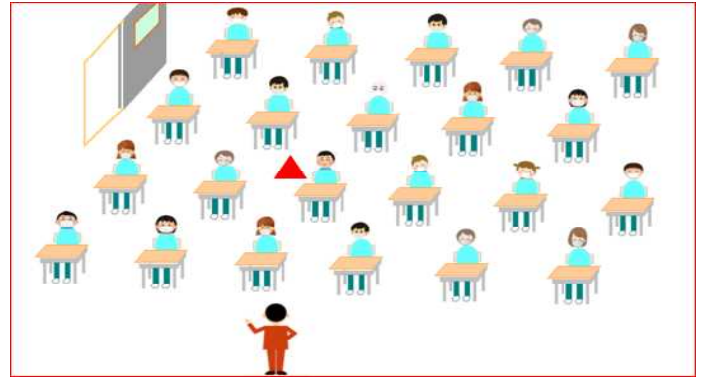
授業前 25%

授業後 92%

相手に分かりやすく伝えようという気持ちが育成され学習意欲の向上にもつながった

これからの授業スタイル

コロナウイルスに負けず
楽しく充実した授業づくりへ！



授業開始の導入が肝心！
簡単ゲーム、三択クイズ、面白話、実物提示などの工夫で子ども達を笑顔に



課題提示後は…まず
一人学習・自力解決力の育成を重視

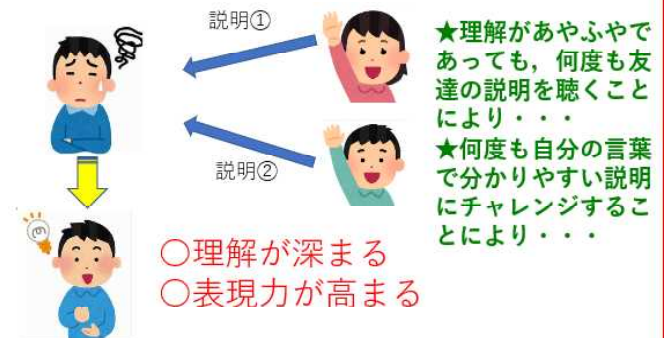


ICT機器を活用して効率的・効果的に早めの理解へ

つまづく子には早めの支援
助言・指導



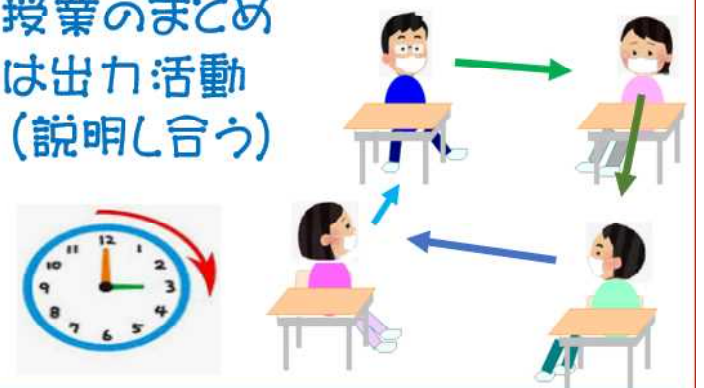
理解させ、説明し合わせる活動について



・マスクをして
・離れたまま
・小声で
教え合いや、説明活動は可能！



授業のまとめ
は出力活動
(説明し合う)



- 学級経営の充実について校内研修を実施（4月）。
 - ・ 良好な人間関係を育成するための、生徒指導機能を有した授業づくり
 - ・ 対人関係ゲーム、SST、SGE、クラス遊び等の計画的・定期的な実施
 - ・ 匿名性を排する清掃反省班ノートの活用等、民主的なクラスシステムづくり
- 授業の充実・学力向上を目指した研修（5月）
 - ・ 理解させ、説明し合わせる授業の理論と実践
 - ・ 指導と評価（説明についての相互評価・教師による評価・授業へのフィードバック）